

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 19 日

評価対象事業		評価者	文化財課担当課長 西山 朗	
文財-06	実施事業	文化財保存・修理助成事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 文化財課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	文化財の保存、調査・研究、情報の充実

1 事業の目的

対象	指定文化財の所有者等
意図	指定文化財等の適正な保存管理とその活用を図り、後世に伝えるため。
効果	指定文化財等の適正な保存管理とその活用を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

指定文化財等の適正な保存管理とその活用を図るために必要な費用に対し補助を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備 考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	人 口	177,243人	176,869人	176,869人	人 口	176,466人	・各年3月31日 (住民基本台帳)	
	世 帯 数	80,676世帯	80,928世帯	80,928世帯	世 帯 数	81,150世帯		
	事業の対象者数				事業の対象者数			
	事業の対象者数				事業の対象者数			
	事業の対象者数				事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	60,464	57,306	57,306	当初予算(千円)	70,429		
	国県支出金	6,890	8,264	8,264	国県支出金	7,828		
	地方債				地方債			
	その他	1,723			その他	1,957		
	一般財源	51,851	49,042	49,042	一般財源	60,644		
事業運営	人員配置数	1.5	1.5	1.5	人員配置数	1.5		
	人件費(千円)	11,662	11,714	11,714	人件費(千円)	11,779		
	総事業費(千円)	72,126	69,020	69,020	総事業費(千円)	82,208		
事業費	市民1人当りの経費(円)	407	390	390	市民1人当りの経費(円)	466		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する	見直しの種類	<input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	事業へ統合
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	文化財の所有者による事業実施計画の状況や、突発的な修理の必要性、また今後大規模修繕が行われることを勘案し、将来的には予算規模を拡大する必要がある。限られた予算を有効に活用する創意工夫が必要である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	過去から引き継がれた貴重な文化財を次世代に確実に引き継ぐため、補助金の交付や専門職員の助言などにより、文化財の状況を的確に把握し、緊急性、重要性に応じて、保存修理事業を継続的に支援していく必要があるが、劣化の進行の時期等、把握は非常に難しい。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	現状は所有者の申し出に応じ、必要な補助金を交付できるよう予算措置を行っている状況だが、文化財の状況を正確に把握し、適切な修理が円滑に行えるよう、方針を明確にするとともに、体制の整備が必要である。
課題解決のために行った平成28年度の取組	優先度の高いものから適切に保存修理事業が行えるよう、国庫や県費の補助金の活用を視野に入れ、文化財の所有者と密に連携をとりながら、現地の状況を確認し、事業を実施した。
未解決の課題、新たな課題とその理由	文化財の円滑な修理を行うための方針の明確化が、できなかった。 今後大規模修繕を行う予定の文化財があるため、予算措置や工程等について調整する必要がある。

- 解決
 一部解決
 未解決

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	国・県指定文化財数									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	282	22	13	11	31	26	4	12	15	

比較事項	市指定文化財件数									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	318	76	24	45	107	86	65	19	23	

比較事項										
団体名										
他市実績										

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	必要な保存修理事業の件数は指定文化財件数と事業費と比例する。市の人口規模や財政規模ではなく、文化財の件数を指標として、経費を確保し、体制を整える必要がある。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	保存修理事業	単位	件	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
着実に保存修理を実施することにより、貴重な文化財をより良い状態で未来に引き継ぐことができるため。	目標値	7.0	8.0	9.0	10.0	10.0	10.0
	実績値	12.0	11.0	12.0			
	達成率	171.4%	137.5%	133.3%			

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標値よりは多い補助事業を実施しているが、東日本大震災や熊本地震の影響などもあり、所有者による文化財に対する防災、保護の意識も高まっていることから、今後も増加傾向は続くと考えられる。
-----------------------	---